

岡山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和4年8月3日(水) 本部棟3階 入札室		
委員	委員 阿藤 俊二 (学校事務部長) 委員 板野 次郎 (弁護士) 委員 小橋 仙敬 (公認会計士)		
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
抽出案件(合計)	13件	(備考)	
建設工事(小計)	6件	入札監視委員会設置要項に則り、互選により阿藤委員が委員長に選出された。 今回の審議対象期間においては、再苦情の申し立て及び同審議依頼はなし。	
一般競争入札(WTO)	0件		
一般競争入札(上記以外)	5件		
工事希望型競争入札	0件		
通常指名競争入札	0件		
随意契約	1件		
設計・コンサルティング業務(小計)	7件		
公募型プロポーザル	0件		
簡易公募型プロポーザル	2件		
標準プロポーザル	0件		
競争入札	2件		
随意契約	3件		
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>1. 岡山大学において発注した建設工事について [資料1] [資料2]</p> <p>特になし</p> <p>2. 岡山大学において発注した設計・コンサルタント業務について [資料3] [資料4]</p> <p>特になし</p> <p>3. 審議対象工事等に関する点検事項について [資料5]</p> <p>特になし</p> <p>[資料6] 資料6-1 1者応札となっている理由を確認しているか。</p> <p>1期・2期は同じ業者か。</p> <p>資料6-2 本件も、資料6-1のように前年度から継続した工事であったのか。</p> <p>参加資格をB又はCと幅広く公告しているが結果的に1者応札となった理由は何か。</p> <p>仕様書を取りに来た業者は何社あったか。</p> <p>資料6-3 設計・施工を分割すると使用開始までに相当な期間を要するため一括タイプとしたとあるが、設計・施工を分けた場合はどのくらいの期間が掛かるか。</p> <p>岡山県産の木材を使用しているか。</p>	<p>大学HP、文科省HP等で広く入札情報を周知していたが結果的に応札業者は1者となった。理由としては、全国的な事業量の増加による技術者不足が原因と考える。</p> <p>1期・2期は同じ業者である。</p> <p>継続した工事ではない。</p> <p>技術者不足が原因と考える。</p> <p>本件については岡山技研1者である。</p> <p>3か月程度工期が延長すると考える。木材の価格高騰もあり、契約時期を早めることができたのは結果的に良かったと考えている。</p> <p>県産材は使用していないが、県産の製材(CLT)を使用している。</p>

<p>本事業は県の補助金の対象か。</p> <p>資料 6 - 4</p> <p>特になし</p> <p>資料 6 - 5 落札率が 99%以上の事業となっているが足場等の価格は業者によって差がでるのではないか。</p> <p>資料 6 - 6 本件は緊急による随意契約であったのか。</p> <p>契約の性質上競争を許さないとして随意契約しているとのことだが、製造元に業務を依頼することが手続き上、適正であると考ええる根拠は何か。</p> <p>岡山大学では設備の全体的な更新計画等の策定はしているか。</p> <p>資料 6 - 7 本件についても、設備の老朽化が原因ということであるが、修繕が必要な設備のリスト等は策定しているか。また、病院の状況はどうか。</p> <p>資料 6 - 8</p> <p>特になし</p> <p>4. 審議対象工事等（抽出案件）について [資料 7]</p> <p>資料 7 - 1 最低基準価格を下回った場合、業者に事情説明書の提出を求めているが、説明書どおりに業者の説明を裏付ける根拠は何か。</p> <p>資料 7 - 2 資料 7 - 1 と同様と理解したので特に新たな意見はなし。</p>	<p>国（国土交通省）の補助金を受けているため、県の補助金は利用していない。</p> <p>足場の価格については業者によっては価格に差がでることもある。今回は実勢価格に近い金額であったと考える。</p> <p>特に緊急ではない。経年による劣化を保全したものである。</p> <p>製造元以外に業務を依頼した場合、アフターメンテナンス等の保障が担保されないため、製造元に業務を依頼することが適正であると考ええる。</p> <p>インフラ長寿命化計画に基づき、予算等の状況を踏まえ、具体的な設備更新については検討中である。</p> <p>インフラ長寿命化計画のなかで、更新が必要な設備についてリスト化しており、順次更新を進めている。 病院については自己資金で設備整備の実施を進めている場合もあり、予防保全という観点からも更新のサイクルを早めに考えている。</p> <p>入札事情説明書に基づき、施設企画部の担当職員が業者に対してヒアリングを行い、確実に業務を履行することができるとの確約を取っている。</p>
--	--

<p>資料 7-3 他事業に今回の入札条件に該当する技術者がとられたとあるが、「技術者」とは専門の資格を持った方が必要ということか。</p>	<p>資格を持った技術者を専任で現場に常駐させる必要がある。基本的に他の現場との兼任ができないため技術者が不足し、応札業者が1者となっていると考える。</p>
<p>資料 7-4 「限教授の監修に際して設計業務・施工への反映手法」とあるが限教授が実際に評価したのか。</p>	<p>限教授は評価に参加していない。建設コンサルタント選定委員会により評価を行っている。</p>
<p>資料 7-5 配点上 2 番目に高い「業務の実施方針」の評価はどのように行っているか。また、「課題についての提案」で評価点に差がないのは何故か。</p>	<p>本業務を実施するにあたり、業務の理解度、実施方針や手法、工程計画の妥当性、配置予定技術者の妥当性が、提案内容に具体的、現実的に示されているかを評価のポイントとしている。また、「課題についての提案」は建設コンサルタント選定委員それぞれが総合的に判断した結果各社とも差がでることはなかった。</p>
<p>資料 7-6 「課題についての提案」について落札業者以外の評価が低かった理由は何か。</p>	<p>落札業者はカーボンニュートラルに関する提案が他者に比べて、やや優れていた。</p>
<p>5. 令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）指名停止について [資料8]</p>	
<p>特になし</p>	
<p>6. その他 特になし</p>	